

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (⑤静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース)			訪問国	フィジー共和国
学校名	静岡サレジオ高等学校	氏名	土屋侑大	学年	1年生

まず、僕がこの探究をしようと思ったきっかけを最初に簡単に説明します。実は僕の兄はトビタテ生で現在、アメリカの大学に留学をしています。去年の春、家族で兄を訪ねました。ホテルの売店でミネラルウォーターを買おうとした時、英語を読み間違えて「あ、富士山の水だ」(Mt. Fuji Water / 右下写真の中の右のボトル) と思い、ボトルを手にとったところ、よく見たら「FUJI WATER」(右下写真の中の左のボトル) と書いてありました。ボトルがおしゃれで高級なミネラルウォーターに見えました。

後で調べたところ、「FIJI WATER」には美容によいシリカが含まれ、アメリカのセレブに人気で、アメリカの輸入ボトルウォーターで売り上げNO1だそうです。ぼくはこの時、なぜ遠く離れたフィジーの水が世界ブランドとして売られているんだろうか？富士山の水は有名なのに、なぜ海外で売られていないんだろうか？と疑問を抱きました。そこで、富士山のミネラルウォーターを世界ブランドにするためにどうしたらよいかを考えようと思いました。これが、僕が今回のトビタテ留学をしようと思ったきっかけです。



そこで、フィジーで英語を勉強しながら、富士山とフィジーのミネラルウォーターを飲み比べし、アンケート調査を行い、どうしたら静岡の水が世界ブランドになれるかを考えることにしました。

留学前の事前調査として、静岡で Mt. Fuji Water というミネラルウォーターを生産している旭産業株式会社さんに取材と工場見学に行きました。

そして、その時、お聞きしたことやいただいた資料をもとに、①Mt. Fuji Water の修正ボトルの提案 (上写真)、②富士山と Mt. Fuji Water の紹介パンフレット、③アンケートを作成しました。①は Mt. Fuji Water のボトルのパッケージデザインの提案です。現在の表記を英語に変え、桜の花のイラストを付け加えました。



飲み比べ (左写真)・アンケート調査の結果を簡単に説明します。まず、「どちらをおいしいと思ったか」という問いに対し、FIJI WATER のほうをおいしいと答えた人が約 69%でした。普段飲み慣れているほうをおいしいと思ったのかもしれないと思いました。また、「どちらが FIJI WATER だと思うか」という問いに対し、正解したのは約 57%でした。確率的には 50%で普通なので、あてた人がやや多かったという結果です。

次に、フィジー人が考える、FIJI WATER が世界ブランドになれた理由について聞きました。1 位が「水の質がよかったから」、2 位が「販売戦略がよかったから」、3 位が「パッケージ

デザインがよかったから」でした。僕の仮説としては、「水の質はそれほど関係なく、パッケージが素敵だから売れているのではないか」と思っていたのですが、予想に反して水の質を誇りに思っている人が多いことがわかりました。

最後に、パッケージデザインに対する意見をもらいましたが、圧倒的に肯定的なものが多かったです。しかし、さらなる改善の提案もありました。フィジー人は、桜の薄紅色よりももっと濃いピンクなどを好むほか、英語表記をとにかく早く見たいということで、富士山よりも先に商品名を書くといいという意見もありました。

FIJI Water はフィジーの主要産業の1つになっているのですが、この背景にはアメリカ企業の関与、フィジー政府の援助がありました。しかし、フィジーの人は「水の質が素晴らしいから」と理解し、それを強く誇りに思っているのが印象的でした。飲み比べてみて、僕は Mt. Fuji Water のほうが、少し甘味があっておいしいと思いました。旭産業さんによると、ふじのくにの水を海外で販売するには運搬コストの問題等があるが、海外展開を考えないわけではないとのことでしたので、これからも、ふじのくにの水の価値をみんなが誇りに思っていくべきだと思いました。そして、海外で必要とされる時がきたら、今回の結果を生かしてもらいたいと思いました。これらの調査結果を報告書にまとめ、旭産業株式会社さんに送りました。

現地での探究活動を通して、フィジー人が地元愛や FIJI WATER に対する誇りをとても強く持っていることがわかり。それらは僕が想像した以上でした。現地に行かなければわからないことだったので、留学してよかったと思いました。

また、アンバサダー活動として、近くの学校やホームステイ先で、折り紙（右写真の上）や将棋、日本語や日本の歌を教えるなどして交流しました。その他、教会（右写真の下）にも行きましたが、そこに集まってきた人は一緒に歌を楽しく歌ったりして、想像していたよりずっと気軽な感じでした。語学学校の教室だけではなく、生活の中で英語を使って現地の人と仲良くなれたことが良かったです。



最後に。この留学を通して、僕は本当に成長できたと思います。留学中に、ホームステイ中に、シャワーが水しか出なくなったり、茶色くなったりしたことがあり、ちょっとつらかったです。水道事情やお風呂に関する考え方は国によって違うので何も言わず我慢しようかとも思いましたが、近くに親戚の家があったので、勇気を出してそこに入りに行かせてもらえないかお願いしてみました。すると OK をもらい、温かいシャワーを浴びられました。小さな交渉ですが、英語でお願いできたことに達成感がありました。



左写真は泥温泉に留学仲間たちと出かけた時のものですが、僕は一番左でジャンプしています。僕は自分がこんなに高く跳べるなんて思いませんでした。これは僕の心の中を表していると思います。フィジーで、37 日間、家族から離れて 1 人でやった経験は本当に貴重でした。支援してくださった企業の方、事務局の方、高校の先生方、両親…すべての方に感謝して終わりたいと思います。